



地域包括支援センターだより

【問合先】桂川町地域包括支援センター（桂川町総合福祉センター内） ☎65・4401

■ 今月はアルツハイマー月間です

1994年「国際アルツハイマー病協会」は世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的としています。

2012年からは9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症に対する理解を呼びかけるために、全国の自治体でもさまざまな取組を行っています。

桂川町では昨年役場の全職員に対して認知症サポーター養成講座を行いました。他にも、毎年申込のあった行政区に地域包括支援センター職員が出向き養成講座を行っています。

9月19日のひまわりカフェの午後の活動で認知症講座を行いますので、皆様ぜひ参加してください。

認知症は誰もがなりうる身近な病気です。そのため認知症予防では、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になってもその進行を穏やかにする」ことが大切です。認知症を正しく知り理解を深め、生きがいのある人生を送るために今できることを一つ一つやっていきましょう。



ひまわりカフェで

ほっと
ひととき



8月8日のひまわりカフェは、『小中学生との交流と工作』でした。

夏休みの子供たちと交流を考えていたところ、桂川町修刀館の方とご縁があり、日頃の稽古の様子を披露していただきました。床を蹴る音や竹刀が当たる音、見るものが新鮮で、参加者の皆さんからも思わず声が漏れていました。その後は子供たちも一緒になってオリジナルのコースターを作りました。子供たちとの交流でいただいた元気は、残暑を乗り越えるパワーに変わると思います。



9月の日程と活動内容

5日(木)	大人の朗読会
19日(木)	認知症講座



※9月のひまわりカフェは「ひまわりの里」で開催します